

令和5年度スクール・サポート・スタッフ配置校における 教諭等の勤務状況に関する調査の集計結果について

1. 調査の概要

スクール・サポート・スタッフを配置している小・中学校を対象として、一定期間（令和5年6月～7月中、任意の一週間）における教諭等の在校時間およびスクール・サポート・スタッフの活用状況に関する調査を令和5年7月に実施しました。

2. 集計結果

(1) 教諭等の在校時間（1週間あたり）

各校からの教員数及び在校時間数に関する回答を集計した結果、下表のとおりとなりました。教員数の増加に伴い、総在校時間数の増加となっておりますが、一人当たりの時間数で見ますと2.07時間の減となっております。

	対象教員数	総在校時間数	1人当たりの 在校時間数
令和4年度	597人	29,629時間	49.62時間
令和5年度	632人	30,052時間	47.55時間
比較結果	35人 増↑	423時間 増↑	2.07時間 減↓

※調査対象校28校中、有効回答数24校

(2) スクール・サポート・スタッフの活用状況

① 主な業務内容

- ・授業で使用する教材等の印刷や物品の準備
- ・教材、資料の整理
- ・小テスト等の採点補助
- ・学校行事・式典等の準備補助
- ・統計情報や校務支援システム等のデータ入力・名簿の作成補助
- ・電話対応・来客受付
- ・家庭への配付文書の印刷・仕分け等
- ・作品の掲示

② 学校からの声（スクール・サポート・スタッフの導入効果）

- ・事務作業以外の業務に充てる時間が増えた
- ・児童、生徒と関わる時間を増やすことができた
- ・授業の準備時間を増やすことができた
- ・教員の退勤時間が早くなった

3. まとめ

調査の結果、スクール・サポート・スタッフの導入等により、勤務時間数の削減につながっていることが確認できました。また、教員の事務作業時間が軽減され、授業準備や教材研究、児童・生徒と関わる時間を増やすことにつながっていることがわかりました。

本調査の中で寄せられた各学校からの意見も踏まえ、スクール・サポート・スタッフのさらなる充実に向けて、引き続き取り組んで参ります。